

# 令和2年度 学校評価アンケート 集計結果(まとめ)

(実施期間) 令和2年11月27日～令和2年12月11日

(対象者) 児童生徒代表者(児童7名・生徒9名)

保護者(小学部、中・高等部) 33名

学校関係者(療育福祉センター関係者) 28名

教職員 38名

(方 法) 無記名によるアンケート

(回収率) 児童生徒 100% 保護者 100% 学校関係者 92.5%

教職員100%

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。評価していただいた内容や、評価の結果に基づいて、今後の取組に生かしていきます。まとめをご覧ください。

アンケートは、お願いした多くの方がご回答くださり、回収率が96%となりました。また、貴重なご意見もたくさんいただきました。真摯に受け止めて、よりよい学校づくりに向けて取り組んでいきます。



## 令和2年度学校評価アンケート 集計結果まとめ

(1) 4段階評価をプラス評価(1、2)とマイナス評価(3、4)とし、判断できない(5)を加えて表示。

(2) 全体合計において、以下の割合に基づいて、評価を行う。

① マイナス評価10%未満 → (◎)

② マイナス評価20%未満 → (○)

③ マイナス評価25%未満 → (△)

④ マイナス評価25%以上 → (×)

④ マイナス評価は少ないが、判断できないが10%以上あり、プラス評価も高いとは言えない。

→ (\*□)

⑤ 教職員の判断できないが10%以上(教職員への取組の周知が不十分) → (\*■)

⑥ 保護者の判断できないが10%以上(保護者への情報発信が不十分) → (\*◆)

(3) 記述欄に書かれた意見や課題(抜粋)は、内容を要約したり表現を変えて記入している。

(4) アンケート項目(※回答者によって質問項目がない項目もあり)

【学校生活全般】【教育課程の改善】【自立活動の指導の充実】【文化・芸術の振興】

【障害者スポーツの推進】【療育福祉センターとの連携】【働き方改革】

(5) 評価の未記入や重複しての記入がある場合は、そのままカウントしているため、合計が100%にならない場合がある。

### 【学校生活全般】

Q1(保護者) お子さんは、学校生活を楽しいと感じていますか。(1)

(教職員) あなたは、児童生徒が学校生活を楽しいと感じていると思いますか。(1)

(学校関係者) 子鹿園分校の児童生徒は、学校生活を楽しんでいると思いますか。(1)

評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
◎	93.9	3.0	1.0	87.9	9.1	3	96.4	0	3.6	97.3	0	0
記述欄に書かれた意見												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日楽しそうに学校であったことを話してくれる。(保)</li> <li>・学校の生活の様子を聞くと、子どもが色々な話をしてくれる。(保)</li> <li>・登下校する子どもたちの表情が明るい。(関)</li> <li>・学校を好きという子が多い。(関)</li> <li>・学校から戻ってきた時、一生懸命勉強をしている。(関)</li> </ul>												
まとめと今後に向けて			<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として多くの方が肯定的評価ですが、保護者、また、児童生徒のマイナス評価が10%近く、または超えています。引き続き、児童生徒が、「楽しい」「学校へ行きたい」と思える学校づくりに努めます。</li> </ul>									

<p>Q 2 (保護者) 学校は、お便り等で学校の情報を分かりやすく伝えてありますか。          (教職員) あなたは(学校)は、保護者等に必要な情報を分かりやすく伝えることができているか。</p>												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
○	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
	83.6	15.1	0.0	90.9	9.1	0	/	/	/	76.3	21.1	0
記述欄に書かれた意見												
<p>まとめと今後に向けて</p> <p>・多くの保護者が、肯定的意見ですが、教職員の20%以上が必要な情報の発信が不十分と感じています。今後、学校の取組の発信、HPの充実、マチコミメールによる迅速な情報発信、連絡帳の工夫等に取組んでいきます。</p>												

【教育課程の改善】

<p>Q 3 (保護者) 学校が行う教科等の指導では、お子さんの力を育てる授業ができていますか。(3)          (教職員) あなた(学校)は、教育課程の改善につなげる視点をもって授業づくりや学習評価ができていますか。(3)          (学校関係者) 学習面や日常生活の指導で児童生徒の状況に合わせた指導支援ができていますか。(2)</p>												
評価	全体			保護者			関係者			教職員		
◎ *■	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
	80.9	9.2	14.1	87.9	6.1	6.1	78.6	10.7	18.1	76.3	10.7	18.1
記述欄に書かれた意見												
<p>・国語と算数に関しては、ノートや宿題を見る限り、学力がついているように感じています(保)          ・質問3, 4, 5について、関わる先生により大きく差を感じます。学校生活内での子どもたちへの意識、また、子どもたちにとってのご自身の立場の重要性の再認識を希望します。(保)          ・知的各教科内容詳細表や、子どもたちの社会性を育む学習などの研修のほか応用行動分析の研修等、子どもたちの指導や支援の質の向上に向けて積極的に取り組んでいる。(関)          ・宿題等もよく出されている。丁寧に教えてもらえると子どもが話している。(関)</p>												
<p>まとめと今後に向けて</p> <p>・学校の授業に関して、マイナス評価と判断できないを合わせると20%を超えています。特に、教職員は、30%を越えており、本年度の取組についての達成度や周知が不十分と考えられます。引き続き、改善方法を検討し、取り組んでいく必要があります。</p>												

Q 4(保護者) 学校はお子さんの学習のねらいや評価について、個別の指導計画や通知票などで十分に説明ができていますか。(4)  
 (教職員) あなた(学校)は、3つの柱に基づいた目標設定や3観点での学習評価ができていますか。(4)

評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
◎	87.2	7.1	5.8	87.5	6.3	6.3	/	/	/	86.8	7.9	5.3
記述欄に書かれた意見												
・質問3,4,5について、関わる先生により大きく差を感じます。学校生活内での子どもたちへの意識、また、子どもたちにとってのご自身の立場の重要性の再認識を希望します。(保) ・教材研究に時間が使えること、指導案をたくさん書いたことで、目標設定や学習評価を意識して取り組むことができた。(教)												
まとめと今後に向けて			・学習のねらいや評価について、保護者、教職員とも肯定的意見が多かったです。今後も、新学習指導要領に基づく3観点での目標設定や学習評価の充実を図り、家庭と十分に共有できるよう進めて行く必要があります。									

【自立活動の指導の充実】

Q 5(保護者) 学校は、お子さんの自立活動の指導について、目標や指導内容を十分に説明していますか。  
 (教職員) あなた(学校)は、自立活動の指導目標、内容を明らかにし、より実態に即した指導支援ができていますか。(5)  
 (教職員) あなた(学校)が行う教科等の指導において、自立活動の指導内容を意識し、配慮した指導支援が行えていますか。(6)

評価	全体			保護者			教職員(5)			教職員(6)		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
○	78.0	15.6	6.5	81.3	12.5	6.3	76.3	15.8	7.9	76.3	18.4	5.3
記述欄に書かれた意見												
・質問3,4,5について、関わる先生により大きく差を感じます。学校生活内での子どもたちへの意識、また、子どもたちにとってのご自身の立場の重要性の再認識を希望します。(保)												
まとめと今後に向けて			・保護者、教職員ともマイナス評価が15パーセント以上あり、全体としてマイナス評価と判断できないを合わせると20パーセントを超えています。特別支援学校の専門性の要である自立活動の指導についての理解を深め、指導力の向上をさらに図るとともに、保護者の皆さんへの十分な説明を進めていく必要があります。									

【文化・芸術の振興】

Q 6 (保護者) 学校は、児童生徒の作品の作品展への出展、音楽や芸術、文化に触れる機会の設定など、文化・芸術活動を積極的に推進していると思いますか。(6)  
 (教職員) 学校は、児童生徒の社会参加を意識して、作品展への出展、音楽や芸術文化に触れる機会の設定など、文化・芸術活動の進行に取り組んでいると思いますか。(7)

評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
○	87.4	10.0	0.0	90.6	9.4	0	/	/	/	84.2	10.5	0

記述欄に書かれた意見

まとめと  
今後に向けて

・全体として、肯定的評価でした。本年度は、芸術鑑賞会の中止など、十分な取り組みができませんでした。今後文化・芸術活動に触れ、参加する取り組みを継続していきます。

【障害者スポーツの振興】

Q 7 (保護者) 学校は、体育の授業やスポーツ大会への参加を通して、スポーツ活動を積極的に推進していると思いますか。(7)  
 (教職員) 学校は、児童生徒の社会参加を意識して、体育の授業やスポーツ大会への参加を通して、スポーツ活動の進行に努めていると思いますか。(8)

評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
○	87.0	10.0	1.6	84.4	9.4	3.1	/	/	/	89.5	10.5	0

記述欄に書かれた意見

まとめと  
今後に向けて

・全体として、肯定的評価でした。本年度は、スポーツ大会の中止が相次ぎましたが、中・高生のスポーツ大会への参加率50パーセント以上と、障害者スポーツへの参加の輪が広がっています。今後も授業としての中での取り組みや、大会の紹介などを通して、一層、スポーツ活動を推進していきます。

【療育福祉センターとの連携】

Q 8(保護者) 学校は、療育福祉センター(リハビリ部、病棟)との連携を生かして、日々の指導や自立活動の指導を行うことができていると思いますか(8)

(教職員) あなたは、療育福祉センター(PT、OT、ST)から受けたアドバイスや病棟と共有した情報等を、日々の指導や自立活動に生かした指導ができていますか。(12)

(学校関係者) 子鹿園分校は、療育福祉センターリハビリ部と情報共有した内容や指導・助言を学校での指導に生かすことができていると思いますか。(3)

(学校関係者) 子鹿園分校は、療育福祉センター病棟と連携協力して児童生徒や保護者への支援が行えていると思いますか(4)

評価	全体			保護者			関係者			教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない	プラス評価	マイナス評価	判断できない
◎	81.2	9.9	8.9	78.1	15.6	6.3	78.6	3.6	17.9	86.8	10.5	2.6

記述欄に書かれた意見(関係者)

- ・プロンボード、移動等に良く取り入れている。
- ・学校の先生が直接リハビリの場面に入っているから。
- ・お願いしたことはやってくれている、また、先生からのいくつかの提案や質問もあり、積極的に取り組んでくれている。
- ・授業中の姿勢と、校外学習での注意点など、忙しい中でも気を付けてくれ、子どもからも情報共有できている様子を聞く。
- ・伝えた内容や実施状況等、フィードバックしてくれている。
- ・訓練で取り組んでいる内容をセラピストと相談して学校での活動に置き換えてくれている。
- ・担任、担当の間で情報共有している。
- ・年に1回ではあるが、話し合いの場が持たれ情報共有ができていると思う。ケース会も実施している。
- ・個別の宿題について共に考えてもらえる。
- ・担任、担当で情報共有し、ケース会で方向付けしているから。
- ・細やかにリハビリの様子を見に来て、保護者とコミュニケーションコミュニケーションをとってリハビリの様子学校での様子を伝えている。

まとめと今後に向けて

・学校関係者、教職員のアンケートの結果を見ると、連携について肯定的な評価が多く、互いに連携できているという結果でした。しかし保護者の皆さんは、マイナス評価と判断できないを合わせると20パーセントを超えており、連携について内容のお知らせや取組の共有が不足しているのではないかと考えられます。

【働き方改革】

Q9 (教職員) 持ち時間数の軽減や放課後の会議のない日の設定増などにより、あなたは昨年度に比べて教材研究の時間が増えましたか。

評価	教職員		
	プラス評価	マイナス評価	判断できない
×	36.8	50.0	10.5

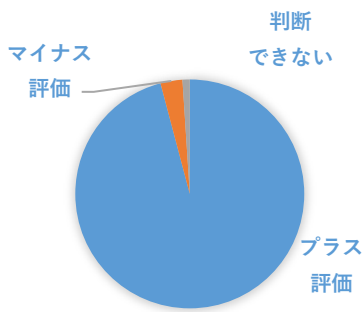
記述欄に書かれた意見

- ・以前の27hの持ち時間に比べると、とても増えた。
- ・教材研究まで時間が回らない。学校でしかできない事務処理、話し合いが優先となる。
- ・持ち時間が減っても、担当する分野が増えたり、会議なし週間にも細かな打ち合わせや話し合いが入っているのが実情。
- ・業務が減っているという風にはあまり思わない。
- ・業務量が減っていないので、授業準備は休日または平日帰宅後になっていて学校にいる時間は行えないのが現状。
- ・コロナ対策により業務が増えた。
- ・会計年度職員制度の開始により臨時職員の勤務時間が減ったため結果として常勤職員の負担増となっている。
- ・持ち時間は減ったが会議が多く、17時以降の会も多い。
- ・空き時間はできたが実施は、抜けられずに入ったり、書類作成で教材研究の時間を後回しにしたりという状況はある。
- ・持ち時間は減り軽減にはなっている。休憩時間は掃除などでとれていない。

まとめと  
今後に向けて

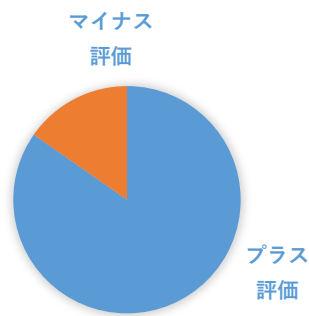
・昨年度の結果と比べると、思わないが10%減少しそう思うの割合が増加してはいますが、評価としては教職員の半数がマイナス評価です。記述欄から見ると、業務の精選や分担、会議の精選や在り方についての課題を解決していく必要があります。

Q1 学校を楽しんでいるか。



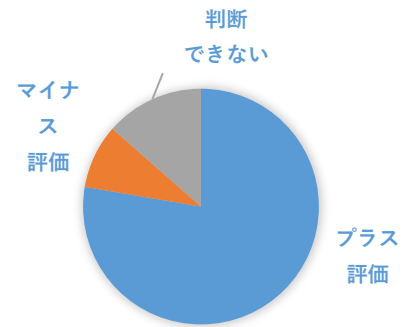
・全体として肯定的評価。しかし、保護者、また、児童生徒のマイナス評価は10%近く、または超えている。引き続き、児童生徒が、「楽しい」「学校へ行きたい」と思える学校づくりに努める必要がある。

Q2 学校の情報をわかりやすく…。



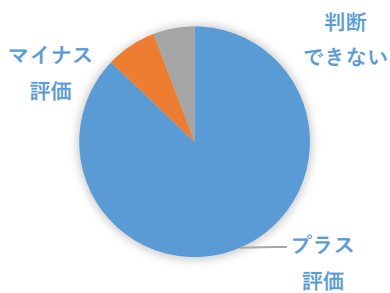
・多くの保護者が、肯定的意見だが、教職員の20%以上が必要な情報の発信が不十分と感じている。今後、学校の取組の発信、HPの充実、マチコメールによる迅速な情報発信、連絡帳の工夫等をしていく必要がある。

Q3 わかる授業、教育課程の改善…



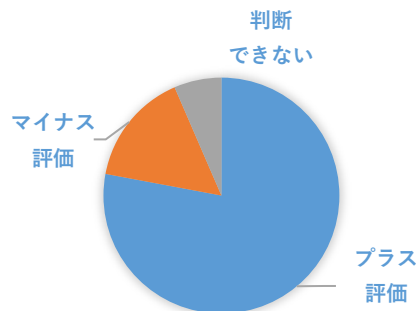
・授業に関して、マイナス評価と判断できないを合わせると20%を超えています。特に、教職員は、30%を超えており、本年度の取組についての達成度や周知が不十分。引き続き、改善方法を検討し、取り組んでいく必要がある。

Q4 学習のねらいや評価、3観点…



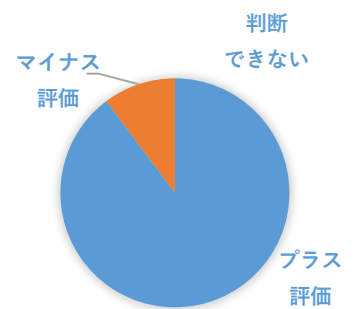
・保護者、教職員とも肯定的意見が多かった。今後も、学校は、新学習指導要領に基づく3観点での目標設定や学習評価の充実を図り、家庭と十分に共有できるよう進めて行く必要がある。

Q5 自立活動の指導について



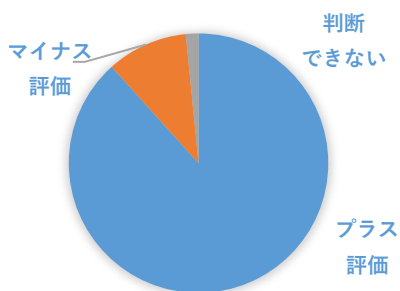
・保護者、教職員ともマイナス評価が15パーセント以上、全体としてマイナス評価と判断できないを合わせると20パーセントを超えている。専門性の要である自立活動の指導についての理解を深め、指導力の向上をさらに図り、保護者の皆さんに十分な説明をしていく必要がある。

Q6 文化、芸術の振興



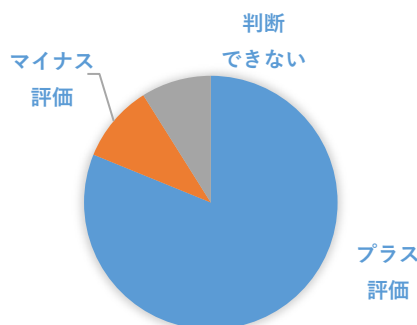
・全体として、肯定的評価。本年度は、芸術鑑賞会の中止など、十分な取り組みができなかったが、今後も文化・芸術活動に触れる機会を積極的に設定していく。

Q7 障害者スポーツの振興



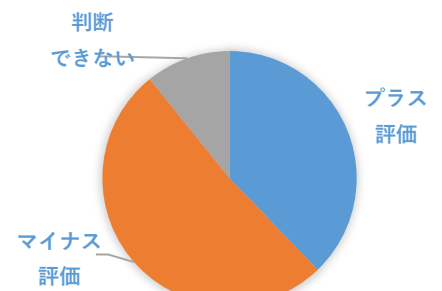
全体として、肯定的評価。本年度は、中・高生のスポーツ大会への参加率50パーセント以上と、障害者スポーツへの参加の輪が広がりにつつある。今後も授業としての中での取り組みや、大会の紹介などを通して、一層、スポーツ活動を推進していく。

Q8 療育福祉センターとの連携



・学校関係者、教職員は、連携について肯定的な評価が多く、互いに連携できているという結果だった。しかし保護者の皆さんは、マイナス評価と判断できないを合わせると20パーセントを超えており、連携について、内容のお知らせや取組の共有が不足している。

Q9 働き方改革



・昨年度の結果と比べると、思われないが10%減少しそうな割合が増加してはいるが、評価としては教職員の半数がマイナス評価である。記述欄から見ると、業務の精選や分担、会議の精選や在り方についての課題を解決していく必要がある。



## ○自由記述欄

10 これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか。	(保護者)
アンケートの書かれた意見や課題(抜粋)	
○コロナにより、学校での様子や情報が分からなくなっていると感じる。行事等 なくなっているので、個別支援での詳しい様子や情報がもっと欲しい。	
○就職に向けての個人に合わせた勉強に力を入れてほしいです。 ○進路に向けて本人に合った進路先を具体的に絞って提案してほしい。 ○卒業後の進路相談 ○卒業後の進路について平等に相談等連絡が取れる体制づくり	

5 今後子鹿園分校が、特に力を入れなければならないと考えること	(学校関係者)
○教科教育 ○多様な実態の児童生徒への対応。変化にスピードをもって変わる努力が必要。 ○発達障害の特性を持つ子供に対する支援の充実をセンターと協力して行う ○職員間の意思統一 ○学校全体の底上げ ○これまで同様、個々の子どもの身体レベルでの維持向上の取組を学校でも続けてほしい。 ○プランが1年単位になりがちであるが、2～3年視点でのプランニングが必要では。	

<p>11 これから特に学校が力を入れなければならないことは何だと考えますか。 (教職員)</p>	
ICT機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報教育</li> <li>○パソコン室の整備</li> <li>○ICT機器を活用した効果的な使い方。Zoomでの授業や宿題づくりなど。(4)</li> </ul>
進路学習・指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路学習の充実</li> <li>○小中高の一貫した進路学習のカリキュラムの整備</li> <li>○卒業後の具体的な姿をイメージして教育活動をする事</li> <li>○進路部、教務部、研究部との連携。</li> <li>○キャリア教育</li> </ul>
指導の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「指導・支援の在り方」、具体的な将来を見据えての指導とは何かを考えていく。</li> <li>○子鹿で目指す子供の姿の共有と、その実現に向けた系統的な指導の確立と授業改善。</li> </ul>
働き方改革・業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様式の整備も必要だが授業の教材研究、準備の時間がないのに意味がない。現状を把握しバランスのとれた運営。</li> <li>○1年間で重点を置いて取り組むことの精選。</li> <li>○業務簿分担や取り組むことを精選する。</li> <li>○教育業務外の雑務の減少</li> <li>○働き方改革に力を入れて働きやすい職場にしていく。</li> <li>○働き方改革の質の見直し</li> <li>○業務の改善</li> <li>○17時以降の会をなくす。意識改革</li> <li>○教員数が減れば、今の業務をこなすことは無理なので業務内容の見直し。できるところまでできる限り</li> </ul>
感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染症の予防対策</li> </ul>

# 令和2年度学校評価アンケート(児童生徒版) 集計結果(まとめ)



学校評価アンケートに答えてくれてありがとうございました。答えてくれた結果をまとめ、学校からの答えものせています。この結果をもとに、子鹿園分校がもっといい学校になるように、取り組んでいきます。

回答率	児童	7名	16名
	生徒	9名	

## 1 あなたは学校生活を楽しいと思えますか。

小学部					中・高等部				
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない	そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	11.1%	0.00%	11.10%	11.1%

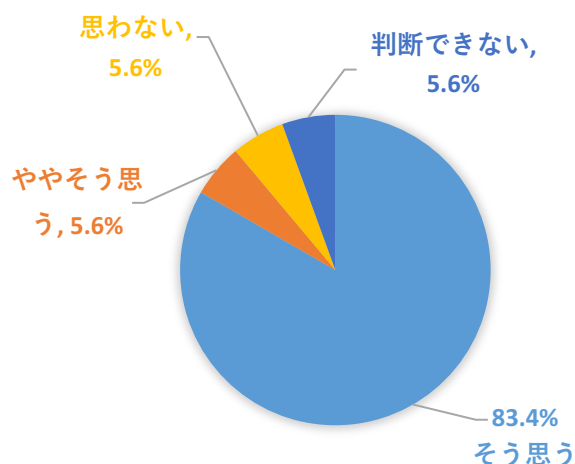
### 全体

そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
83.4%	5.6%	0.00%	5.6%	5.6%

### <そう思う理由>

- (小)・みんなと遊ぶのが楽しい。
- ・図工の工作をつくるのが楽しい。
- ・勉強や、友達と遊ぶのが楽しい。
- (中・高)
- ・みんなとパーティーや出かけるのが楽しい
- ・みんなと話せるから。
- ・美術の作品作りが楽しい
- ・友達や先生と一緒に協力することが勉強にもなるし、楽しい
- ・みんなに会えるのが楽しいから

### Q1.あなたは学校生活が楽しいですか

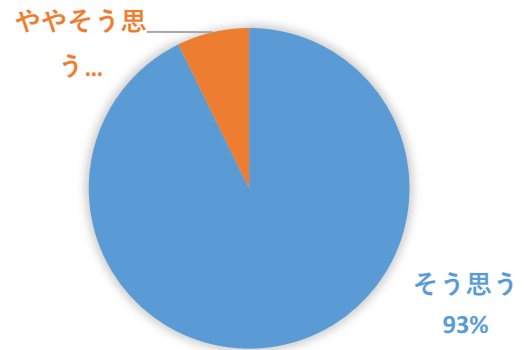


【学校からの説明】学校を楽しいと感じている人が多いということが分かりました。思わない、判断できないという人も楽しいと感じられる学校にしていけるよう、いっしょに考えていきたいです。

## 2 先生は、あなたの相談に親身になって、対応してくれていますか。

小学部					中・高等部				
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない	そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
85.7%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.00%	0.00%	0.0%
全体									
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない					
87.3%	6.9%	0.00%	0.0%	0.0%					

### Q2 先生は、相談に親身になって対応してくれますか

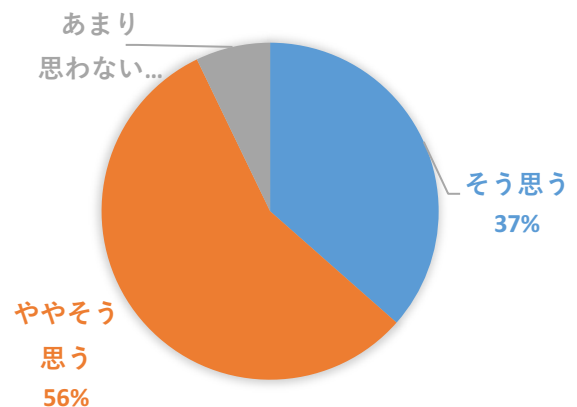


【学校からの説明】困ったことや悩みがあったら、いつでも相談してください。担任の先生がいない場合でも、どの先生でも、話を聞く用意があります。

## 3 あなたは、学校に授業が分かりますか

小学部					中・高等部				
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない	そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.00%	0.00%	0.0%
全体									
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない					
36.5%	56.4%	7.15%	0.0%	0.0%					

### Q3 学校の授業が分かりますか



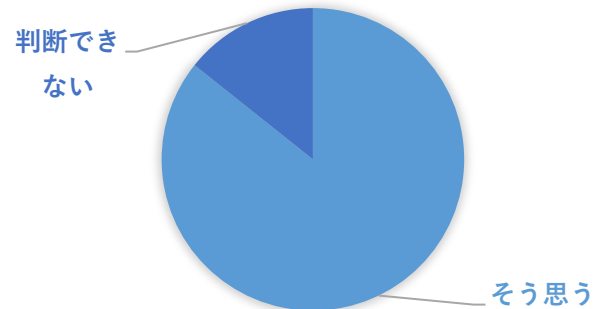
<そう思わない理由>  
(小)・理科と算数が難しい

【学校からの説明】そう思うとややそう思うの人が多いいことが分かりました。理科と算数の授業が難しいという意見がありました。みなさんの意見を聞きながら、授業の内容や進め方を考えていきます。

#### 4 先生は、その授業の目標・ねらいを評価をしっかりと伝えてくれますか。

小学部					中・高等部				
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない	そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	100.0%	0.0%	0.00%	0.00%	0.0%
全体									
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない					
85.7%	0.0%	0.00%	0.0%	14.3%					

Q4 先生は、授業の目標・ねらいや評価をしっかりと伝えて・・・

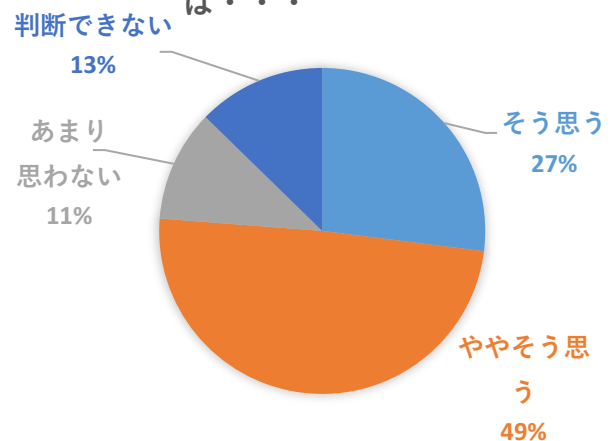


【学校からの説明】中高のみなさんには、授業のねらいや目標、評価がしっかりと伝わっていることが分かりました。小学部のみなさんにも、わかりやすく伝えることができるように、考えていきます。

#### 5 あなたは、自立活動の時間には、自分の目標に向かって、すすんで取り組んでいますか。

小学部					中・高等部				
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない	そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	11.1%	55.6%	22.20%	0.00%	11.1%
全体									
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない					
27.0%	49.3%	11.10%	0.0%	12.7%					

Q5 あなたは、自立活動の時間には・・・

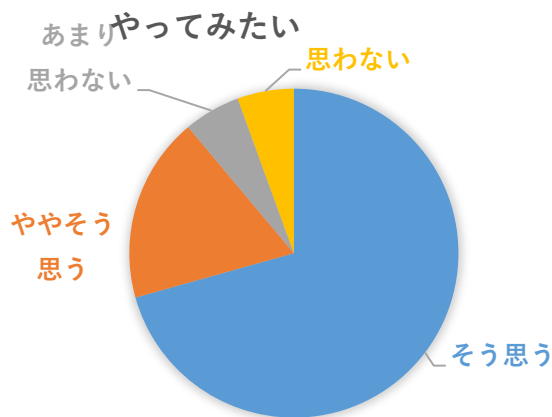


【学校からの説明】あまり思わないと判断できないという意見があることが分かりました。自立活動の時間にも、取り組むことのねらいや目標を、みなさんにしっかりと伝えていけるようにします。

6 あなたは、図工（美術）や音楽で制作や歌唱、演奏や鑑賞、または読書活動などをおして、好きな活動ややってみたい活動が見つかりましたか。

小学部					中・高等部				
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない	そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	22.2%	11.10%	11.10%	0.0%
全体									
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない					
70.7%	18.3%	5.55%	5.6%	0.0%					

Q6あなたは図工（美術）や音楽で



<そう思わない理由>

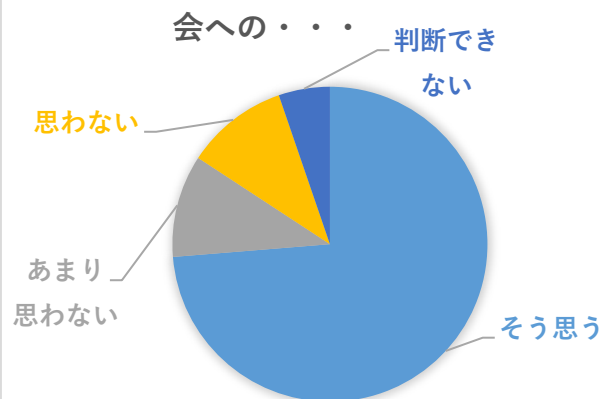
(中・高)・選択科目で美術を選んだら3年間美術しかできなかつたので、音楽もできるようにしてほしい。

【学校からの説明】中・高であまり思わないと思わないという意見があることが分かりました。好きな活動が見つかるよう工夫していくようにします。また、高等部の選択科目については、担任の先生に、説明してもらうようにします。

7 あなたは、体育の授業やスポーツ大会への参加をおして、好きなスポーツややってみたいと思うスポーツが見つかりましたか。

小学部					中・高等部				
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない	そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	22.20%	11.10%	11.1%
全体									
そう思う	ややそう思う	あまり 思わない	思わない	判断できない					
77.8%	0.0%	11.10%	11.1%	5.6%					

Q7あなたは体育の授業やスポーツ大



<そう思わない理由>

(中・高)・ポッチャ大会に初めて参加したが、待ち時間が長かつたのと、予定がずれていて、結局一日日程となつて疲れた。そのような大会なら、参加したくないと思った。

【学校からの説明】中・高であまり思わないと思わない判断できないという意見があることが分かりました。授業やスポーツ大会への案内を通して、いろいろなスポーツを紹介していくようにします。また、ポッチャ大会のことについては、ポッチャ協会の係の方に、大会の日程や進行について相談してもらうよう伝えていきます。

8 あなたがこれから学校で、したいこと(してほしいこと)は、なにですか。

したいこと・してほしいこと	学校からの答え
<p>○車いす大会をしたい</p> <p>○料理をしたい</p> <p>○何かしてみんなで遊びたい</p> <p>○ボウリング大会をしてほしい</p> <p>○フィギアに詳しい人に学校に来て教えてもらいたい。</p> <p>○バトミントン大会がしたい。</p> <p>○物づくりがしたい</p> <p>○韓国語の勉強がしたい</p> <p>○テレビアニメを見たい</p>	<p>○授業や行事の中で取り組めることがないか、担任の先生に伝えて、相談してみてください。</p>
<p>○休み時間を増やしてほしい(2)</p>	<p>○子鹿園分校は、下校時刻を変更することが難しいため、今のところ、日課表を変えることは難しいです。授業の間の休憩やトイレに行く時間はしっかり確保できるように、工夫していきます。</p>
<p>○社会や数学、音楽の時間を増やしてほしい</p> <p>○音楽の時間を増やしてほしい</p> <p>○クラスで学習する時間を増やしてほしい</p> <p>○小学部との合同学習を増やしてほしい</p>	<p>○授業内容については、担任の先生に相談をしてみてください。</p>
<p>○校外学習にあまり行けていないので行きたい</p> <p>○学習発表会を復活させてください。みんなで努力してきたことをいろんな方に見てもらえるから。</p> <p>○本校との体育交流会が予定されているが、このような交流は、同級生や知り合いに会えるのでいいと思う。</p>	<p>○今年は、あまり行けませんでした。来年度も授業の中で計画していきます。自分の課題と目標をもって活動していきましょう。</p> <p>○昨年度、1年間のみなさんの授業時間を確保するために、行事を見直しました。すぐに復活することは難しいですが、学習の成果を発表することは、とても意義があり大切なことです。学習発表会という場ではありませんが、発表の機会を考えて準備していきたいと思えます。</p> <p>○今年は残念ながら中止になってしまいましたが、係の先生や校長先生にも意見を伝えておきます。</p>
<p>○給食のカレーをもっとおいしくしてほしい。</p>	<p>○栄養士さんに話を聞きました。カレーをおいしくするために、今、カレーパウダーを調整したり中に入れる野菜を工夫したりしてくれているそうです。味の感想を担任の先生に、ぜひ伝えてください。</p>

